平成 2７年 5月

高等学校長　　様

英語科教諭　　様

第64回チャーチル杯争奪全国高等学校生英語弁論大会を次の規定により開催いたしますので、貴校代表のご推挙を戴きたくお願い申し上げます。

|  |  |
| --- | --- |
| 主催 | 青山学院大学E.S.S.関西学院大学E.S.S. |
| 後援 | シャープ株式会社、関西学院大学広報室、産経新聞社、株式会社ジャパンタイムズ、関西学院大学ESSOB会 |
| 協賛 | Lu C ien Pellat-Finet Asian 株式会社、青山学院大学OB会、アサイメディックス株式会社、一般財団法人 英語教育協議会、一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会、株式会社アイエスエイ、株式会社アイデム、株式会社アゴス・ジャパン、株式会社ECC、株式会社イング、株式会社オーシャナイズ、株式会社ダイヤモンド・ヒューマンリソース、株式会社北原 旅館こうろ、株式会社語研、株式会社シャルレ、株式会社新星出版社、株式会社トップトラベルサービス、株式会社トリドール、株式会社ハウスオブローゼ、株式会社浜学園、（株）姫路樹脂化研、株式会社マイナビ、株式会社ミルキィ・ウェイ、株式会社留学ジャーナル、北信州観光協会、牛丼専門店 和、久野登記測量事務所、研伸館、公益財団法人 日本英語検定協会、神戸風月堂、コピーテン、中央出版株式会社、テイエス企画株式会社、入村遼平、ピカロ、兵庫県自動車学校西宮本校、フォレスト出版株式会社、マクミランランゲージハウス、六甲バター株式会社、ワールドウィングスター株式会社50音順 |

※後援・協賛は2015年5月現在のものです。

**第64回チャーチル杯争奪全日本高等学校生英語弁論大会**

目的

本大会は、将来国際社会の一員として21世紀を担う青少年に、英語を通して自己主張する機会を与えると共に広くその普及を図り、国際親善に寄与することを目的とする。

**〔第1次予選〕**　原稿・音声審査による第1次予選を行う。

地 区 予 選 実 施 要 項

① **応募資格** 各校一次予選応募者の人数制限はなし。

ただし二次予選出場者は各校上位5名まで。

(英語を母国語としない者に限る)

② **応募方法**　（郵送とメール）

・以下の２点を郵送にて以下の住所へ送ること。（封筒の裏面には本人と責任者の氏名・住所・電話番号高校名を明記のこと）

1.出場申込書

2.A4用紙にタイプしたスピーチ原稿 3部

・以下の２点をメールにて以下のメールアドレスに送ること。

（件名に名前と学校名）

 　1.スピーチ原稿（Wordにタイトル、氏名、本文を入力したもの）

 2.できるだけ良い録音状態で自分のスピーチを録音した音源

 (ファイル形式はMP3形式に限る。また、５分以内におさめること。)

※注意

1.スピーチの題材は自由とする。

2.原則として未発表で自分で書いたものとする。しかし1年以内の作品ならば既発表も可とする。

3. ③、④については以下の原稿の書式を守ること。

**＜原稿の書式＞**

　・字体はCentury、フォントサイズは本文、氏名を10.5pt,タイトルを12ptにすること。

　・本文の前には、タイトル、氏名を英語にして書き込むこと。

　・その際、タイトルは中央揃え、氏名は右揃えにすること。

　・原稿は1部ずつ左上をホッチキスでとめること。

・段落の先頭は5スペース分あけること。

⑤ **応募締め切り** **８月１５日（土）必着　（以後は受け付けない）**

**東日本地区**住所：〒168-0065東京都杉並区浜田山2-20-3　鈴木奏子

Email: churchilltrophy2015@gmail.com

**西日本地区**　住所：〒543-0013

 大阪府大阪市都島区内代町1-2-37-501　高嶋由佳

Email: masashi.kennedy11@gmail.com

⑥ **郵送宛先とメールアドレス**

⑦ **審査基準** English：45、Contents：55とする。

1. **結果発表** 9月 ７日（日）以降 1週間以内に本人に通知する。

**〔第2次予選〕**　 第1次通過者は、次の如く第2次予選を行う。

1. **開催日** 10月10日（土）

② **会　　　場**

 東日本予選は、青山学院大学（東京都渋谷区渋谷4-4-25）

西日本予選は、関西学院大学（兵庫県西宮市上ヶ原1-1-155）

③ **審 査 員** 3名

④ **Questioner** 1名

⑤ **演　　　題**

 演題は自由。（但し、日記文やエッセイではなく、演説であること。）

⑥ **時 間**

制限時間は 5分以内とする。時間超過は減点の対象となる。

しかし、6分を過ぎると強制的に中断となる。

⑦ **Q & A Period**

スピーチ終了後、3分以内のQuestion and Answer Periodを設ける。

これは、QuestionerがSpeakerに対して内容に関する簡単な質問を行うものである。

⑧ **審 査 基 準**

Contents：40. English：30. Delivery：20. Question＆ Answer：10とする。

※第 2 次予選の審査基準 Delivery には Memorization（原稿の暗記）が必須となる。

⑨ **レセプション**

全員のSpeech終了後、審査員を交えて、交流、親睦を兼ねたレセプションを催す。

⑩ **表　　　　彰**

参加者全員に記念品を贈呈、なお、第 2 次予選通過者には賞状を、上位者には賞品及び賞状を贈る。

⑪ **参 加 費 用**

第 2 次予選への参加に際する費用はすべて自費とする。

本選実施要項

 ① 開　 催　 日 11月７日（土）

 ② 会 場 青山学院大学

 ③ 審 査 員 後日連絡します

 ④ Questioner 後日連絡します

 ⑤ 演 題 第 2 次予選に同じ

 ⑥ 時 間 第 2 次予選に同じ

 ⑦ Q & A Period 第 2 次予選に同じ

 ⑧ 審 査 基 準 第 2 次予選に同じ

 ⑨ レセプション 第 2 次予選に同じ

 ⑩ 表彰 第一位　チャーチル杯、記念品、賞品及び賞状

第二位　記念品、賞品及び賞状

第三位　記念品、賞品及び賞状

 ⑪ 参 加 費 用 本選大会交通費、宿泊費は全て自費とする。

注意事項

①本・予選に関して、会場及び期日に変更のある場合には前もって通知する。

②参加取り消しの場合はその旨を、本・予選ともに、大会の一週間前までに必ず連絡すること。

③**東日本予選の電話・メールでのお問い合わせ**

　　青山学院大学E.S.S.　チャーチル杯実行委員会

 委員長 清水　春風

 〒211－0016　神奈川県川崎市中原区市ノ坪228メゾンアブニール202

 TEL 090-5534-6610

 MAIL churchilltrophy2015@gmail.com

 副委員長 鈴木　奏子

 〒168-0065東京都杉並区浜田山2-20-3

 TEL 080-1252-9575

④**西日本予選の電話・メールでのお問い合わせ**

関西学院大学E.S.S.　チャーチル杯実行委員会

 委員長 高嶋　由佳

 〒543-0013 大阪府大阪市都島区内代町1-2-37-501

 TEL 090-1963-0569

 MAIL akachicken1995@gmail.com

 副委員長 高橋　雅史

 〒662-0837　兵庫県西宮市広田町11-51 メゾンドアヴェニール312

 TEL 080-6967-9307

 MAIL masashi.kennedy11@gmail.com

※この弁論大会は学生団体・委員会の主催で運営されておりますので、

大学への問い合わせはご遠慮ください。